

緊急地震速報が鳴ったら数十秒で出来ること



◆住戸内での安全確保
緊急地震速報が流れて、強い揺れを感じるまでの時間は、数秒〜数十秒です。このわずかな時間に屋外に出ようとすると、はたまた、住戸内で安全な場所へ（各避難スペースは家族内で話し合い、決めておく）ペットや高齢者は安全な場所に連れていき、抱きかかえて身を守りましょう。

トイレやバスルームに逃げ込んだ場合は、ドアを開けておき、閉じ込めの危険性を防ぎましょう。

揺れが来るまでの到達時間や震度の大きさ、自身の家族構成や居住階などの条件にあわせて家庭内で訓練しておきましょう。

揺れがおさまった後の行動チャート



自助・共助・公助



自助: 家族、企業や地域コミュニティで共に助け合う

共助: 地域での役割

公助: 行政による救助・支援

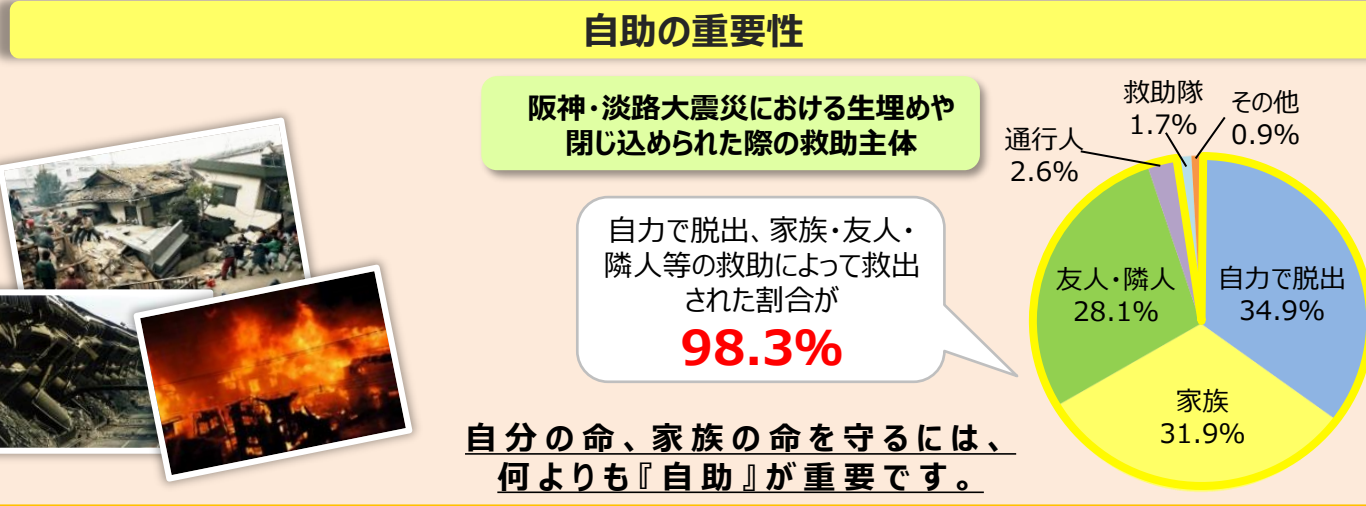
「公助」の限界

平成27年度の東京都全域における災害車両数

救急車		333台
消防車		673台
はしご車		83台

◆救助体制が整うのに約3日
地震によって倒壊した建物が道路を塞ぎ、消防・警察・自衛隊の迅速な救助が困難となります。各県から応援なども派遣されますが、被災地全てを網羅できるだけの救助は、すぐには整いません。

また、通常の火災やケガ人等の場合は、1つの現場に対し集中して救助活動を行いますが、大規模地震の場合は、同時にたくさんの方の救助が必要となるため、全てを同時に救助することは、全災害車両を出動させても圧力的に数が多いため不可能です。



地震がきたら建物の外に逃げられるのか？

震度4



眠っている人が目を覚まし、座りの悪い置物などが倒れます。

震度5弱



棚の食器や本が落ちたり、家具が動くことがあります。

震度5強



タンスなどの重い家具が倒れることもあります。家のドアが変形することもあります。

震度6弱



立つことが難しく、家具が倒れることも。昭和56年以前の建物では倒壊することもあります。

震度6強



這わないと動けません。家具のほとんどが動き、倒れます。平成12年以前の建物では倒壊することもあります。

震度7




自分の意思で行動できません。築浅でも免震工法や制震工法の建物以外は倒壊することもあります。

地震対策の「松竹梅」

松

- 家の建て替え
- 免震・制震補強工事



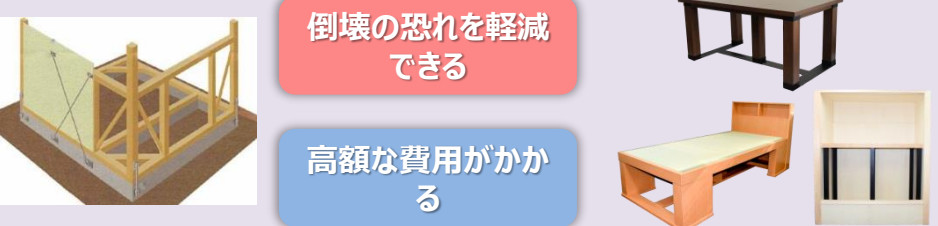
安全性が1番高い

莫大な費用がかかる

免震構造 耐震構造

竹

- 耐震補強工事・シェルター
- 小型オープンシェルター



倒壊の恐れを軽減できる

コストが安い・引越先に持っていける

高額な費用がかかる

きちんと避難する為に練習が必要

梅

- 家具の固定・配置
- 防災グッズ・備蓄
- 通電火災対策
- 家族防災マニュアル
- 生命保険・地震保険



低コストで出来る地震対策

救助来るまで生き延びる可能性が高まる

地震から命を守れない

北淡震災記念公園のご案内

平成7年1月17日、午前5時46分マグニチュード7.3、最大震度7を記録する兵庫県南部地震が発生しました。6,434名の犠牲者と甚大な被害をもたらした地震災害は「阪神・淡路大震災」と名付けられました。北淡震災記念公園は地震を起こした「野島断層」を保存し、震災を後世に伝えるとともに、今後の防災に役立てるために、平成10年4月2日に開園しました。



断層保存ゾーン

断層の一部の140mをありのままに保存。段差や地割れ等様々な形で現れた地面のずれや断層の断面を見学できます。



メモリアルハウス

断層の真横に立っているながらほとんど被害が無かった地震に強い家として保存され、耐震建築の重要性を教えてください。

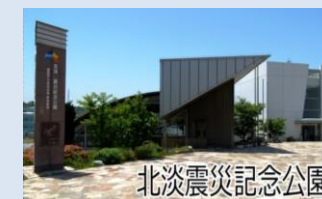


震災体験館

兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）と東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の2種類の揺れを体験できます。



被災体験を後世に伝える「震災の語りべ」活動もっており、毎週火曜日にはメモリアルハウスで、団体のお客さまにはセミナーハウスで（要予約・要費用）体験や教訓を語っています。園内の物産館には淡路の特産品を揃えた土産物店と地魚が食べられるレストランがあります。



〒656-1736
兵庫県淡路市小倉177番地

AM9:00~PM17:00

月額5,600円で出来る「竹」対策!! 「構-kamae-」シリーズ



※テーブル・ベッド 27万円～ / 押入れユニット 13万円～

お客様の声

東日本大震災から5年が経ち、熊本地震ということでこれは黙っておけない。この播州地方も山崎断層がありますので、私共も地震対策をしなければいけないと考えました。耐震補強工事は検討しましたが、約180万円かかると言われたので、これじゃ出来ないと思いました。息子は遠方で家を建てているので、この古い家に大金をかけてももったいないと諦めかけていたところ、毎日新聞で「構-kamae-」の記事が出ており、これだったら、なんとか自分の持っているお金でまかなえると思い、お願いしました。実際に震災を体験した方が、経験を活かして作られているので、本物だと感じました。安信さんと関係が出来て本当に良かったです。

松・竹・梅対策のアドバイスや家具転倒防止対策、備蓄品、防災グッズのご購入・ご相談は

関西ポラコン株式会社 お客様ご相談窓口

防災安心相談室

☎ 06-6467-8333 ✉ info@bousai-ansin.com